

Table with columns for business name, code, category, budget, and legal basis. Includes '妊婦・乳幼児健康診査事業' and '2歳児歯科健診'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間 (Business Period) and ② 事業の内容 (Business Content). Includes details on annual continuation and specific activities.

(2) トータルコスト

Table showing costs and time for 2024. Columns include '事業費の内訳' and '延べ業務時間の内訳'.

Table showing total costs and personnel costs from 2022 to 2025. Columns include '事業費' and '人件費'.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping activities (手段), objectives (目的), and upper-level objectives (上位目的) to specific indicators (指標) with data from 2022 to 2025.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns discussing environmental changes, stakeholder opinions, and the status of the business.

事務事業名	妊婦・乳幼児健康診査事業 ④2歳児歯科健診	課名	健康管理課	班名	支援班
-------	--------------------------	----	-------	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由] ↷ 歯・口腔の健康は全身の健康を保持増進するためにとっても重要であり、安心して子どもを産み育てることができる、という政策体系に結びついている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由] ↷ 乳歯列が完成する時期であり、また1歳6か月児健診と3歳児健診の中間期である2歳6か月を対象としているので、現状のままで適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ 健診や保健指導を実施することは、むし歯有病者率の減少とともに幼児の健康の保持増進を図れるため、市が主体で実施することは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由] ↷ 受診率は90%を超え、むし歯有病者率は年々減少しているため、妥当であるが、更なる受診率の向上、むし歯有病者率の減少を目指す。 銚子市は未実施、匝瑳市は実施しているが対象年齢が異なるなど、近隣との比較はできない。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒[理由] ↷ 未受診者に対して、翌月に受診するよう再通知をしているが、再未受診者に家庭訪問を実施し受診勧奨をする。また、保護者の口腔衛生意識を高め、仕上げみがきの徹底化、フッ素塗布の継続化を図ることで成果の向上が期待できる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由] ↷ 類似事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ 必要最小限のスタッフで健診を実施しているため削減は難しい。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由] ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由] ↷ 健診後のカンファレンスの実施方法の見直しを行い、カンファレンス時間の短縮を図る。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由] ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由] ↷ 対象者に個別通知をしており、すべての対象者に受診の機会があるので公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業開始してから15年が経過し、年々受診率も伸びており健診事業として定着してきている。フッ素歯面塗布を導入して8年が経過したが、今ではほぼ全員が希望し実施できている。むし歯予防の強化により、1年後の3歳児健診でのむし歯有病者率も減少傾向にある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止																								
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？																								
① 未受診者に再通知をし、再未受診者のうち経過観察者には訪問しているが、平成25年度中に経過観察者以外の再未受診者にも状況把握のため訪問を実施する。 ② 平成25年度中に健診後のカンファレンスの実施方法の見直しを行い、カンファレンス時間の短縮を図る。 ③ 健診や教育等で仕上げみがきの徹底化を図り、むし歯予防についての正しい知識を提供していく。(継続)																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
① 再未受診者状況把握のための訪問に臨時職員の確保も考えられるが、費用と効果のバランスを考えて判断する必要がある。 ② 健診に従事する職種毎にカンファレンスに必要な情報を健診後担当からききとること等により、時間の短縮につながることを検討する。 ③ 特になし																								